

日本電子キーボード学会「第4回幹事会」レポート

第4回幹事会が2007年7月14日10:00~12:00、
昭和音楽大学(新キャンパス)第2会議室において開かれました。
以下、そのご報告です。

出席者：吉田泰輔、下八川共祐、柳田孝義、出田敬三、赤石敏夫、中地雅之、仁田悦朗
野口剛夫、阿方 俊、生頼俊秀

協 議 内 容

大会へ向けた協議題目検討の後、第3回大会へ向け新会員および一般参加者募集について話し合われました。

なお第5回幹事会は大会直前となりますので、問題発生時はメールでの打合せとなります。よろしく願い申しあげます。組織委員会は9月に開催いたします。

1. 第3回全国大会の主催などに関する確認

- ◆主 催：日本電子キーボード学会第3回全国大会組織委員会
- ◆と き：2007年10月7日(日) 10時半~18時
18時~懇親会
- ◆と ころ：東京学芸大学(東京都小金井市貫井北町4-1-1)芸術館ほか
 - ①JR中央線武蔵小金井駅北口下車、京王電鉄バス小平団地行
「学芸大正門前」下車(約10分)
 - ②JR中央線武蔵小金井駅北口より徒歩25分
 - ③JR中央線国分寺駅北口より徒歩20分
- ◆参加費：学会員(正会員=1,000円、学生会員=500円)
一 般(非学会員=3,000円、学生=1,500円)
※懇親会費も含む
- ◆問合せ：学会事務局(〒215-8558 神奈川県川崎市麻生区上麻生1-11-1 昭和音楽大学内
阿方(アガタ) or 生頼(オウライ)気付 Tel: 044-953-1121 Fax: 044-953-1311
E-Mail: jeks@snow.ocn.ne.jp)

2. 大会会場およびスケジュール

1) 行事と会場

行 事	会 場
受付、全体会議、コンサート	芸術館ロビー(受付) およびホール
パネルディスカッション および研究発表	Room-1 = 芸術スポーツ事務棟 4F 401 教室 (60名) Room-2 = 芸術スポーツ事務棟 4F 第2音楽講義室 (60名) Room-3 = 芸術スポーツ事務棟 3F 音楽技能第1教室 (M.L.教室)
昼 食、懇親会	飯島会館 *幹事、パネルディスカッション他関係者の昼食は本部
本 部	芸術スポーツ事務棟 3F 音楽技能第2教室

2) スケジュール (7月31日現在)

10:00	受 付 (芸術館ロビー)		
10:30	全体会 (芸術館ホール)		
	あいさつ 鷲山恭彦 (東京学芸大学長) 吉田泰輔 (学会代表)		
10:45	基調講演 三澤洋史 (第二国立劇場指揮者) 「電子オルガンによる、オペラ、ミュージカルなど 劇場音楽上演の実践と将来について」		
11:15	総 会		
12:00	《 昼 食 》		
13:00	パネルディスカッション		
	Room - 1	Room - 2	Room - 3
	パネル - 1 電子オルガン関連 《パネリスト》 赤松英彦 金澤素子 安井正規 《アドバイザー》 三澤洋史 《司会・進行》 赤塚博美 柴田 薫	パネル - 2 M.L.関連 (注-1) 《パネリスト》 大串和久 影山建樹 脇山 純 《アドバイザー》 柳田孝義 《司会・進行》 小倉隆一郎 富田英也	
14:30	《 休 憩 》		
15:00	研究発表		
	Room - 1 《司 会》 安藤恭子	Room - 2 《司 会》 海津幸子	Room - 3 《司 会》 仁田悦朗
	研究発表 - ① 佐藤文行 (演奏)	研究発表 - ② 松本裕樹・阿方俊 (理論)	研究発表 - ③ 中地雅之 (演奏)
15:30	研究発表 - ④ 清水徳子 (演奏)	研究発表 - ⑤ 金銅英二 (理論)	研究発表 - ⑥ 赤津裕子 (M.L.教育)
16:00	研究発表 - ⑦ 森下絹代 (演奏)	研究発表 - ⑧ 山中秀樹 (学校教育)	研究発表 - ⑨ 大串和久 (M.L.教育)
16:30	《 休 憩 》		
17:00	《研究コンサート》		
	芸術館		
	① J.S.バッハ フーガの技法より ② C.C.サンサーンス 動物の謝肉祭より ③ その他 演奏 東京学芸大学 中地雅之クラス		
18:00	《懇親会》		
	創立 20 周年記念「飯島会館」		

注-1 M.L.は Music Laboratory の略語で、親機と複数の子機による主として電子ピアノを使用した音楽教育への取り組み (教材やカリキュラムなど) に関連したものです。

2. コンサート関連

- 1) 曲 目： ① J.S.バッハ フーガの技法より ② C.C.サンサーンス 動物の謝肉祭より
③ その他
- 2) 演奏時間： 30 分程度
- 3) 楽器編成： 最大 7 台で曲により編成を変更
- 4) 使用楽器： 学校用機種で演奏。協賛団体の楽器を主体に借用交渉中
- 5) P.A. : 各楽器にキーボードスピーカー1台を直接接続

3. 展示

展示の検討をしてきたが、今年度は参加者数などを考慮して時期尚早との結論になった。

4. 大会参加者募集

- 1) 会員名簿作成に合わせて大会への会員および一般参加者参加をアピールする
- 2) 大会チラシの作成
- 3) その他

※全国大会も今年で 3 回目。新たな会員募集と一般参加者募集が次なる重要課題であることが再確認されました。
